

# 三原から思いやりの心を



# 学生がハートレシメジャー

## 「ハ」当地ヒーロー

### 6日に初舞台

創作劇で思いやりの心の大切さを伝えようと、三原市学園町の県立広島大保健福祉学部の学生が、ご当地ヒーロー「ハートレシメジャー」を結成した。3月6日に学内である福祉イベント「こころネットみはらまつり」で初舞台を披露する。(和泉恵太)

出演するのは人間福祉学部の学生約10人で、赤や青、ピンクのコスチュームにマント姿の5人が主役。食事を食べ終わらない子どもたちに向けてストーリーや配役の打ち合わせをする学生

もを残し、ほかの子に遊びに行くようその

かず悪魔を退治するストーリーを披露する。イベントに来た子どもに楽しみながら周囲の人への優しさについて考えてもらおうと企画した。今月から配役や振り付け、舞台登場時の「決めポーズ」などについて話し合っている。

イベントは同大などでつくる実行委の主催で3回目。障害者団体の活動紹介やバザー、ゲームコーナーなどを設ける。レシメジャーのリーダー役の3年植田颯子さん(22)は「日常の場面を通して分かりやすく伝えたい。舞台の反響を見てほかのイベント出演も考えた」と張り切っている。